

First Trust Preferred Securities and Income ETF
ファーストトラスト 優先証券&インカム ETF

交付運用報告書

2023年10月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2023年10月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年8月15日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ファンド III (First Trust Exchange-Traded Fund III)
----------	--

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リバティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	---

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載
した書面
(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第 59 条において準用する同法第 14 条第 4 項及び第 6 項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実に相違ありません。

本書の記載事項の説明**1. 運用方針**

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及び／又はストーンブリッジ・アドバイザーズ LLC（以下「ストーンブリッジ」又は「サブアドバイザー」といいます。）並びにそれらの各代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実にのみ関連しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれます。

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンヂ・トレーデッド・ファンズ III（以下「本ファンド」といいます。）のシリーズ（ファーストトラスト 優先証券&インカム ETF。以下「本ファンド」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価する際には、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及び／又はサブアドバイザー並びにそれらの各代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

パフォーマンス及びリスク開示

本ファンドがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンドは市場リスクに曝されています。これは、本ファンドが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンドのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。したがって、本ファンドへの投資により損失を被ることがあります。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかかもしれません。最新の月末パフォーマンスデータについては、www.ftportfolios.com をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンドのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンドのウェブページ（www.ftportfolios.com）で、定期的に本ファンドのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

本報告書の読み方

本報告書には、本ファンドへの投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンドに関する詳細な情報が含まれており、本ファンドのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提供するデータや分析が提示されています。

本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームによるポートフォリオの解説を読めば、市場環境が本ファンドのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンドのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザー及び／又はサブアドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンドへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンドの規制関連の提出書類に明記されています。

ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

ファーストトラスト 優先証券&インカム ETF（以下「本ファンド」といいます。）の投資目的は、トータルリターンを追求すること及び経常的な収益を上げることです。本ファンドは、通常の市場環境下では純資産（投資のための借入れを含みます。）の少なくとも 80%を優先証券（以下「優先証券」といいます。）及び収益性の高い債券（以下「収益性証券」といいます。）に投資します。本ファンドは、店頭市場で取引される有価証券や取引所に上場されている有価証券に投資します。上記の 80% テストの関係上、優先証券又は収益性証券に主に投資する 1940 年投資会社法（その後の改正を含みます。）に基づき登録されたオープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド又はその他の上場投資信託（以下「ETF」といいます。）の有価証券は、優先証券又は収益性証券とみなされます。

本ファンドが保有する優先証券は、一般に投資家に対して固定利率又は変動利率の分配金を支払い、また分配金の支払い及び会社の資産の清算において普通株式に優先しますが、一般に優先債務及び劣後債務の双方を含む会社のあらゆる形態の債務に劣後します。一部の優先証券は、特に当該証券を発行することを目的として会社が設定・設立する信託その他の特別目的事業体により発行される場合があります。本ファンドが保有する収益性証券は、社債、（一般に「ジャンク」債と呼ばれる）高利回り債及び転換証券を含みます。社債という大きなカテゴリーには、米国及び米国以外のあらゆる種類の会社（時価総額が小さい会社、時価総額が中程度の会社及び時価総額が大きい会社を含みます。）が発行する債券が含まれます。社債には、固定金利又は変動金利が付される場合があります。

パフォーマンス

	平均年間トータルリターン				累積トータルリターン		
	2023年10月31日に終了した1年間	2023年10月31日に終了した5年間	2023年10月31日に終了した10年間	設立（2013年2月11日）から2023年10月31日までの期間	2023年10月31日に終了した5年間	2023年10月31日に終了した10年間	設立（2013年2月11日）から2023年10月31日までの期間
本ファンドのパフォーマンス							
NAV	-0.10%	1.65%	4.04%	3.20%	8.55%	48.65%	40.13%
市場価格	0.13%	1.61%	3.99%	3.16%	8.32%	47.82%	39.65%
インデックスのパフォーマンス							
ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index	5.89%	3.20%	3.99%	4.03%	17.07%	47.85%	52.78%
ブレンデッド・ベンチマーク ⁽¹⁾⁽²⁾	1.27%	1.61%	N/A	N/A	8.31%	N/A	N/A

（ファンドのパフォーマンス概要に関する注記を参照してください。）

- (1) ブレンデッド・ベンチマークは、ICE BofA Core Plus Fixed Rate Preferred Securities Index、ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index、ICE USD Contingent Capital Index 及び ICE BofA US High Yield Institutional Capital Securities Index の 30/30/30/10 ブレンドで構成されています。ブレンデッド・ベンチマークは、優先証券及びハイブリッド証券市場の各分野の時価総額比率を反映することを意図しています。インデックスには管理手数料や売買委託手数料は含まれておらず、表示されたパフォーマンスからそのような手数料や費用は差し引かれていません。インデックスは非管理型であり、投資家はインデックスに直接投資することはできません。ブレンデッド・ベンチマークのリターンは、上記の各期間における4つのインデックスの毎月のリターンを用いて計算されています。毎月月初に、各月中に発生した比率からの乖離を考慮し、30/30/30/10の比率に4つのインデックスをリバランスします。毎月のリターンを上記の各期間について複利計算し、上記の各期間におけるブレンデッド・ベンチマークのパフォーマンスを算出します。
- (2) ICE USD Contingent Capital Index は 2013 年 12 月 31 日が開始日であるため、開示されている期間すべてについてブレンデッド・ベンチマークのパフォーマンスを確認できるわけではありません。

セクター・アロケーション	投資総額に占める割合
金融	75.1%
エネルギー	8.7
公益事業	6.3
工業	3.4
生活必需品	2.6
不動産	2.0
通信サービス	1.1
素材	0.6
一般消費財	0.2
合計	100.0%

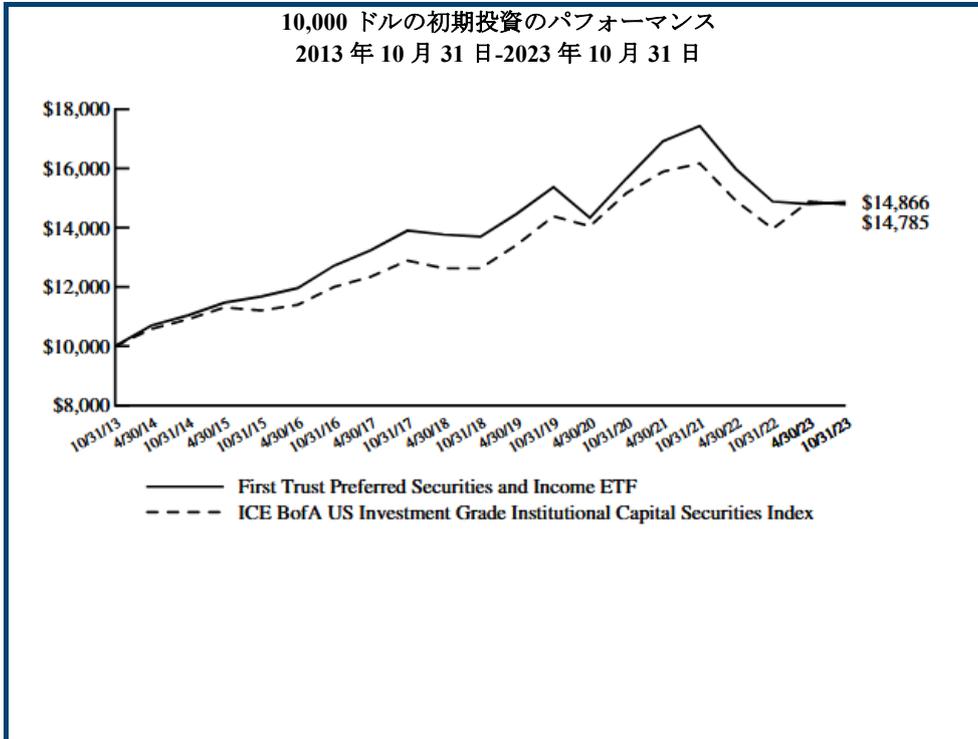
カントリー・アロケーション	投資総額に占める割合
米国	52.4%
英国	9.8
カナダ	9.1
バミューダ	5.9
フランス	5.1
オランダ	3.0
スペイン	2.6
イタリア	2.5
メキシコ	2.5
オーストラリア	2.3
マルチナショナル	2.1
ドイツ	1.3
スイス	0.7
デンマーク	0.5
スウェーデン	0.2
合計	100.0%

信用力 ⁽³⁾	債券投資総額に占める割合
A-	0.5%
BBB+	10.8
BBB	22.0
BBB-	31.8
BB+	18.5
BB	8.9
BB-	3.1
B+	0.9
無格付け	3.5
合計	100.0%

保有上位 10 銘柄	投資総額に占める割合
Barclays PLC	2.3%
Highlands Holdings Bond Issuer Ltd./Highlands Holdings Bond Co-Issuer, Inc.	2.1
AerCap Holdings N.V.	2.1
Wells Fargo & Co.、シリーズ L	2.1
Intesa Sanpaolo S.p.A.	1.8
Bank of America Corp.、シリーズ L	1.5
Barclays PLC	1.4
Algonquin Power & Utilities Corp.	1.4
Lloyds Banking Group PLC	1.3
Global Atlantic Fin Co.	1.3
合計	17.3%

⁽³⁾ 上記の信用力及び格付情報は、1社以上の全米で認知された統計的格付機関（NRSRO）（S&P グローバル・レーティン

グ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、フィッチ・レーティングス、又は同等の格付けを有する NRSRO を含みます。) が付与した格付けを反映しています。ある証券が複数の NRSRO により格付けされ、その格付けが同等でない場合は、最も高い格付けが使用されます。投資不適格格付けとは、BB+/Ba1 以下の格付けを指します。投資適格格付けとは BBB-/Baa3 以上の格付けをいいます。表示されている信用格付けは、本ファンドの原証券の発行体の信用力に関するものであり、本ファンドやそのシェアに関するものではありません。信用格付けは変更される場合があります。



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。

ファンドのパフォーマンス概要に関する注記（未監査）

設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。

本ファンドのシェア 1 口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア 1 口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されているが未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドの NAV が計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBO は、本ファンドの NAV が計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から構成されます。2019 年 1 月 1 日以前は、使用されていた価格は、本ファンドの NAV が計算される時点での本ファンドのシェアが取引されている証券取引所における最も高いビッドと最も低いオファーの仲値でした。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドの NAV を流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを計算します。NAV 及び市場リターンには、すべての分配金が NAV と市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性のある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

ポートフォリオの解説（未監査）

アドバイザー

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」といいます。）は、本ファンドの投資アドバイザーを務めています。ファーストトラストは、本ファンドの投資ポートフォリオを継続的に監視し、本ファンドの業務を管理し、本ファンドの運用に必要な一定の事務管理業務を提供する責任を負います。

サブアドバイザー

ストーンブリッジ・アドバイザーズ LLC

ストーンブリッジ・アドバイザーズ LLC（以下「ストーンブリッジ」又は「サブアドバイザー」といいます。）は、本ファンドのサブアドバイザーであり、コネチカット州ウィルトンに拠点を置く登録投資顧問会社です。ストーンブリッジは、優先証券やハイブリッド証券の運用を専門としています。

ストーンブリッジ・アドバイザーズ LLC のポートフォリオ・マネジメント・チーム

以下の者が本ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務めています。

スコット・T・フレミングー最高経営責任者兼社長

ロバート・ウルファー最高投資責任者、エグゼクティブ・バイスプレジデント兼シニア・ポートフォリオ・マネジャー

エリック・ウィーバーエグゼクティブ・バイスプレジデント、チーフ・ストラテジスト兼ポートフォリオ・マネジャー

アンジェロ・グラチ、CFAエグゼクティブ・バイスプレジデント、クレジットリサーチ部門長兼ポートフォリオ・マネジャー

ポートフォリオ・マネジャーは、本ファンドの日々の運用に第一義的に、かつ共同で責任を負います。2020年及び2022年よりポートフォリオ・マネジメント・チームの一員であるエリック・ウィーバー及びアンジェロ・グラチ以外の各ポートフォリオ・マネジャーは、本ファンドについては2013年より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員となっています。

解説

市場動向

2023年10月31日に終了した12カ月間の優先証券及びハイブリッド証券市場は、相場が大きく動いた時期が何度かありましたが僅かながらプラスのリターンを上げました。好調な収益と現在の高い利回りにより金利上昇、クレディ・スイスのAT1債の評価減による損失や米国地方銀行の経営破綻の影響を相殺することができたため、同期間中は優先及びハイブリッド市場の底堅さが十分示される形となりました。しかしながら、パフォーマンスは市場セグメント間でまちまちでした。優先証券及びハイブリッド証券市場で最も好成績を収めたセグメントは、額面1,000ドルの投資適格（以下「IG」といいます。）機関投資家向け市場であり、5.89%のリターンを生み出しました。額面1,000ドルの非IG市場は2番目に好成績を収めた市場セグメントであり、同期間中に1.21%のリターンを上げました。一方、額面1,000ドルの偶発転換資本証券（以下「CoCos」といいます。）は、クレディ・スイスのAT1債の評価損が生じた波乱の2023年3月より後の期間のリターンが-0.77%でした。しかしながら、CoCosは下半期に大きく反発し、市場セグメント全体をリードしました。2期連続で最もパフォーマンスが悪かった市場セグメントは、デュレーションが長い額面25ドルのリテール市場であり、同期間のリターンは-2.09%でした。

パフォーマンスの分析

2023年10月31日に終了した12カ月間における本ファンドの純資産価額（以下「NAV」といいます。）及び市場価格トータルリターンは、それぞれ-0.10%及び0.13%でした。これに対し、ICE BofA Core Plus Fixed Rate Preferred Securities Index（以下「POP4」といいます。）の30%、ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index（以下「CIPS」）の30%、ICE USD Contingent Capital Index（以下「CLDR」といいます。）の30%及びICE BofA US High Yield Institutional Capital Securities Index（「HIPS」）の10%をブレンドした本ファンドのベンチマーク（以下「ベンチマーク」といいます。）のトータルリターンは、1.27%でした。

同期間のベンチマークに対する本ファンドのアンダーパフォーマンスは、欧州の銀行、地方銀行やスーパーリージョナルバンクにおける銘柄選択によるものでした。相対パフォーマンスのその他のマイナス要因は、新興市場の銀行に対する本ファンドのアンダーウェイト、並びに米国のグローバルなシステム上重要な銀行（以下「米国GSIB」といいます。）に対するアンダー

ウェイト及び銘柄選択でした。本ファンドが不動産投資信託（以下「REIT」といいます。）内の銘柄を選択したことも相対パフォーマンスを圧迫しました。しかしながら、本ファンドは、デュレーションの短期化と、ベンチマークでは保有していない変動利付証券に対するエクスポージャーにより、こうしたアンダーパフォーマンスの一部を相殺しました。

また、本ファンドは、航空機リース会社、エネルギーパイプライン、モーゲージ REIT、農業信用銀行及び公益事業会社に対するオーバーウェイトのエクスポージャー、並びに保険セクターにおける銘柄選択からも恩恵を受けました。

市場及び本ファンドの見通し

2024 年に目を向けると、このところのボラティリティにより、忍耐強い投資家には長い目で見て優先証券やハイブリッド証券にチャンスが生じていると我々は考えています。優先証券及びハイブリッド証券市場に関する我々の基本的見通しは、短期的には、低迷する資金流入、市場の不安定さや高利回りでリスクフリーの代替商品により価格上昇が抑えられる可能性があるキャリー環境に関するものです。金利変動リスクや景気後退リスクの点で優先証券市場に対する逆風が続く可能性があります。高い信用スプレッドが示すように、優先証券市場は他の債券アセットクラスと比べてかなりの量のリスクを織り込んでいると我々は見ています。割安な価格、高収益、そして歴史的に見ても魅力的な市場のイールド・トゥ・ワーストを踏まえると、長期的には、投資家は目が離せなくなるような投資参入機会を迎えていると考えられます。また、アクティブ運用はデュレーション管理や相対価値及び信用分析に基づく銘柄選択を通じてさらなる値上がりへの期待を投資家に提供できる可能性があると考えられます。特に本ファンドについては、額面よりも割安なポートフォリオの有価証券と比較的高い分配金収入が収益とキャピタルゲインの可能性を求めている投資家にとって魅力的になり得ると思われれます。

ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、（1）取引コスト、及び（2）継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立つことを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2023年10月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていたでしょう。

	2023年5月1日 時点の口座 開始価値	2023年10月31日 時点の口座終 了価値	6カ月に 基づく年間 費用比率	6カ月に 支払われた 費用 (a)
ファーストトラスト 優先証券&インカム ETF (FPE)				
実際	\$1,000.00	\$ 1,004.90	0.85%	\$4.30
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$1,020.92	0.85%	\$4.33
(a) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年5月1日から2023年10月31日まで）を掛けたものであり、さらに184/365（6カ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。				

貸借対照表

2023年10月31日

資 産:

投資（評価額）	\$4,814,592,417
現金	4,046,684
受取勘定:	
利息	50,965,210
売却された投資有価証券	8,372,954
配当	2,937,951
税還付	438,586
その他	—
資産合計	<u>4,881,353,802</u>

負 債:

支払勘定:	
交換されたシェア	6,202,225
投資顧問料	3,556,944
その他負債	192
負債合計	<u>9,759,361</u>
純資産	<u>\$4,871,594,441</u>

純資産の内訳:

払込資本	\$6,424,580,330
額面価額	3,126,550
分配可能利益（損失）累計額	<u>(1,556,112,439)</u>
純資産	<u>\$4,871,594,441</u>
シェア1口当たり純資産価額	<u>\$15.58</u>
発行済シェア数（授権数の制限なし/シェア1口当たりの額面価額0.01ドル）	<u>312,655,000</u>
投資（取得額）	<u>\$5,748,557,263</u>

損益計算書

2023年10月31日に終了した年度について

投資利益:

利息.....	\$273,929,014
配当.....	110,932,276
外国源泉徴収税.....	(738,358)
その他.....	369
投資利益合計.....	<u>384,123,301</u>

費用:

投資顧問料.....	46,658,092
弁護士費用.....	272,389
費用合計.....	<u>46,930,481</u>
正味投資利益（損失）.....	<u>337,192,820</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）:

正味実現利益（損失）の内訳:

投資.....	(436,100,233)
現物交換.....	(5,066,084)
外貨取引.....	38
正味実現利益（損失）.....	<u>(441,166,279)</u>
投資に係る未実現増価（減価）の正味変動額.....	<u>109,503,416</u>
実現及び未実現の正味利益（損失）.....	<u>(331,662,863)</u>
運用による純資産の正味増加（減少）額.....	<u>\$5,529,957</u>

純資産変動計算書

	2023年10月31日に 終了した年度	2022年10月31日に 終了した年度
運用:		
正味投資利益（損失）	\$337,192,820	\$353,394,584
正味実現利益（損失）	(441,166,279)	(114,950,428)
未実現増価（減価）の正味変動額	109,503,416	(1,384,334,348)
運用による純資産の正味増加（減少）額	5,529,957	(1,145,890,192)
シェア保有者への分配の原資:		
投資運用	(330,265,462)	(343,498,173)
資本の払戻し	(13,534,543)	(13,679,185)
シェア保有者への分配合計	(343,800,005)	(357,177,358)
シェア保有者取引:		
シェア売却手取金	271,414,610	718,008,516
交換済シェア費用	(1,088,245,754)	(886,491,469)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額	(816,831,144)	(168,482,953)
純資産の増加（減少）額合計	(1,155,101,192)	(1,671,550,503)
純資産:		
期首	6,026,695,633	7,698,246,136
期末	\$4,871,594,441	\$6,026,695,633
発行済シェア数の変動:		
期首における発行済シェア数	363,155,000	376,405,000
売却されたシェア数	15,600,000	36,550,000
交換されたシェア数	(66,100,000)	(49,800,000)
期末における発行済シェア数	312,655,000	363,155,000

財務ハイライト

各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	10 月 31 日に終了した年度				
	2023	2022	2021	2020	2019
期首における純資産価額	\$16.60	\$20.45	\$19.23	\$19.89	\$18.76
投資運用による利益:					
正味投資利益 (損失)	1.00 ^(a)	0.92	0.90	1.00	1.08
実現及び未実現の正味利益 (損失)	(1.00)	(3.84)	1.24	(0.66)	1.14
投資運用による合計額	—	(2.92)	2.14	0.34	2.22
シェア保有者への分配の原資:					
正味投資利益	(0.98)	(0.89)	(0.88)	(0.94)	(1.07)
資本の払戻し	(0.04)	(0.04)	(0.04)	(0.06)	(0.02)
分配額合計	(1.02)	(0.93)	(0.92)	(1.00)	(1.09)
期末における純資産価額	\$15.58	\$16.60	\$20.45	\$19.23	\$19.89
トータルリターン ^(b)	(0.10)%	(14.65) %	11.26%	1.94%	12.25%
平均純資産に対する比率/補足データ:					
期末における純資産 (千単位)	\$4,871,594	\$6,026,696	\$7,698,246	\$5,422,433	\$4,678,519
平均純資産に対する費用合計の比率	0.84%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%
平均純資産に対する正味投資利益 (損失) の比率	6.04%	4.95%	4.54%	5.24%	5.69%
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 ^(c)	34%	35%	27%	43%	28%

(a) 平均発行済シェアを基準としています。

(b) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換 (redemption) がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換 (redemption) 又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。

(c) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定 (creation) や交換 (redemption) の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。